

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osc_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大和ハウス工業/ヤマトグループ	階数	地上6F
建設地	大阪府茨木市松下町2番の2の一部	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,240 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2015年11月30日
敷地面積	61,841 m ²	作成者	株式会社フジタ 田中秀明
建築面積	22,642 m ²	確認日	2015年12月2日
延床面積	89,504 m ²	確認者	株式会社フジタ 源邦夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
本計画は市街地からやや離れた郊外に位置する物流倉庫の新設計画である。生物環境の創出をおこなうため、緑地を豊富に計画し、周辺の景観や生物環境に配慮した計画としている。また、屋根には高性能の断熱材を採用し、熱負荷の低減を図るなど省エネルギーにも配慮した計画である。	・特になし	
Q1 室内環境 ・開口部には遮音性能T-2等級を採用 ・壁遮音性能Dr-45以上 ・全面的(床・壁・天井・天井裏)にF☆☆☆☆の建築材料を採用している。	Q2 サービス性能 ・天井高は3.0mあり、十分な屋外の情報を得られる窓がある。 ・執務室の1%以上のリフレッシュスペースがある。自販機置場を計画している。	Q3 室外環境(敷地内) ・外構部分に緑地を積極的に計画。
LR1 エネルギー ・主要水栓の過半以上に節水型器具を採用。 ・設備システムにおいて高効率機器の導入	LR2 資源・マテリアル ・躯体材料、躯体以外の材料において、リサイクル材を採用	LR3 敷地外環境 ・十分な駐車場を確保し、周辺道路への交通負荷低減に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0084

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】	建物名称	大和ハウス工業/ヤマトグループ 関西ゲートウェイターミナル新築工事					
	建設地	大阪府茨木市松下町2番の2の一部					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
省エネ対策		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体: 2.0 住戸・宿泊:	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.5
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		2.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				